

## 令和3年度 市長のタウンミーティング（会場：クロスベイ新湊）

日時 8月11日（水）午後7時30分～午後9時

会場 クロスベイ新湊 iCN ホール

出席者 夏野市長、磯部副市長、金谷教育長、小塚企画管理部長、一松財務管理部長、桜川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、島崎都市整備部長、橋本上下水道部長、原教育委員会事務局長、中野市民病院事務局長、木田消防長、夏野会計管理者、吉岡監査委員事務局長、杉本企画管理部次長、盛光政策推進課長、菅原未来創造課長（司会）

参加者 57名

### ○ 質疑応答

発言者1【中町 男性】

○ 去年からの新型コロナウイルス感染症の状況が現在も続いているが、市によって政策が違うというのを肌で感じている。ワクチンの接種ひとつをとっても各市で様々な違いがあり、射水市においては高校3年生相当の年齢の方々への接種に優先して取り組むようである。初めてのことで今までのやり方が通用しない中で、市長や副市長がリーダーシップを発揮して、市民目線で政策を進めていただきたい。しかし、射水市の全ての地域において一律の政策を行えばよいということではないと思う。例えば少子高齢化が進んでいる臨海地域と学園都市で若い人が多くいる小杉の太閤山とでは政策が違って当たり前なので、ぜひ地域に合った政策に取り組んでいただきたい。

○ 先日大きな災害が起きた熱海では、10日後には市が住宅再建の施策を発表したが、困っている人は市の窓口で相談に来てくださいますとお知らせしていた。例えば射水市で山間部や臨海部で災害の被害があったときに、もし相談窓口が市役所だったら、金山や放生津、堀岡の人が被害に遭って車もなくした状態にもかかわらず大島まで行かなければならず、それは被災した市民に寄り添ったやり方とはいえない。射水市ではそのようなことはないと思うが、やはり地区センターや車両などを用いて、その地域で窓口なり受付をする配慮があつてしかるべきだと思う。

## 回答【市長】

- 新型コロナウイルス感染症に関しては、各自治体で独自の支援策や取組が行われており、まさにおっしゃられたとおりリーダーシップや行政側がいかにかに市民の皆さんの状況把握をしてニーズを捉え、声を受け止め取組を行っていくかが求められていると強く感じている。また、地域ごとに違う課題についても地域振興会の皆さんと連携し意見をいただきながら、それぞれの地域の課題解決やより住みよいまちづくりに向けて取組を進めていきたい。
- 行政は申請主義というか、届けをいただければ支援できるということが多かった。しかし、災害が起こった場合、移動の手段もない中で市役所まで来いというのは確かに現実的な話ではない。そういった場合についても、市民目線で検討しながら寄り添った施策ができるように今後も取り組んでいきたい。

## 発言者2【大門本江 男性】

- 自分はピアノサークルに所属し、地域のにぎわい創出事業としていろんな町でピアノを弾くイベントをしている。クロスベイ新湊からもストリートピアノで演奏してほしいと依頼されてイベントを行った。その際は新聞でも大きく取り上げられ、発信としてはよかったが、ピアノを弾いているとペダルの音などが気になった。利用者が聞いていて、また弾いていていいなという気持ちになったほうがまたここに来て弾きたいと思ってもらえたり、違う町の人がクロスベイ新湊を訪れることにつながったりすると思うので、「ピアノを置けばいい」というのではなく、音の質にまで気を遣ってほしい。
- 6月に海王丸パークにアップライトピアノを持ち込んで演奏したが、新湊大橋と青い海・空とピアノという組み合わせが素敵な絵面になった。こういった音楽と海王丸パークのコラボレーションを市のホームページや情報誌などで紹介し、射水市にこんな素敵などころがあるということを県や市の内外に発信する手段の一つにしてはどうか。富山市にもストリートピアノはあるが駅の中やアーケード通りの中に設置されているので、射水市は青い空の下広大な場所で弾くイメージにすれば差別化でき、また違った視点から発信できるのではないかな。
- 大門総合会館の大ホールを大会で使用したが、そこに設置してあるピアノ

を使うときには、半日の練習で4,000円とピアノのレンタル料6,000円で1万円かかる。ピアノの練習をしたいと思っている学生やお子さんはたくさんいると思うので、もう少し安くして、そういった人たちが利用しやすい環境を検討してはどうか。

#### 回答【市長】

- クロスベイ新湊のピアノ設置については、どのくらいの人に使ってもらえるか、どのような効果があるかなど手探りで行ったところである。お話にあったようにより良い音楽を聞き、演奏していただくことによって館内の雰囲気がよくなり満足度が高まるのなら、ピアノを新しく買うのは難しいが、機会があればよいものにしていきたい。
  
- 海王丸パークでのコラボレーションについては、面白く魅力的なご提案をいただいたと思う。他市でもピアノを街中に設置する取組はあるが、それと差別化を図り、動画配信もできるように検討していければと思う。
  
- 射水市では、合併前のそれぞれの市町村で設定された料金をそのまま使っていたため、同じ種類の施設でも利用料が違うという状況だったので、数年前にそれぞれの施設の利用料の改定を行った。また、例えば市が100パーセント責任を持ってやっていくべきもの、市は半分くらい負担してもう半分は利用者に負担していただくもの、民間でも同様のサービスが行われているので市の負担割合をかなり下げて利用者の負担割合を多く設定するもの等、市の負担割合をどのくらいに設定するかも改めて検討し、見直しをした。負担していただく料金についても、それぞれの施設の維持管理に使っている金額を割り返してそれを参考にした料金の算出や、近隣市町村の施設料金などを踏まえ設定した。しかし、学生やお子さんが練習などで使うにはお金がかかりすぎるということで利用されなくなってしまっは本末転倒なので、状況を把握しながら、見直しをする際には念頭に置きたい。

#### 発言者3【戸破 女性】

- 射水市の財政の状況について、義務的経費のうち扶助費が大幅に増えて人件費が減少しているとのことだが、若者の仕事へのやる気が削がれるのではないか。

#### 回答【市長】

- 射水市は5つの市町村が合併してできた市で、合併の際にそれぞれの市町村で勤務していた職員も射水市の職員となった。そうすると各々の市町村で別々にやっていた業務を一つの市になることで共通して一緒に行うことができるようになり、そのおかげで、例えば全体で100人ぐらいのスタッフで行っていたことが半分の50人のスタッフでできるようになった、という環境の効果があつた。そういうこともあり、特に平成20年度から平成30年度の間については、毎年定年退職する職員の人数よりも少ない新規採用を行っている。こうして職員全体の人数を減らしてきたという経緯があり、これだけ人件費が減少することとなった。決して、待遇などを無理に圧縮したわけではない。

#### 発言者4【戸破 男性】

- 地域と若者とのかかわり方について、学生による企画立案などスポット的なものではなく、日常的にかかわり合えるような取組はあるか。

#### 回答【市長】

- 市内の様々な高等教育機関でも独自の取り組みを行っていて、例えば情報ビジネス専門学校は学生さんはキャンパスが立地している三ヶ地域の皆さんと色々な連携をとっている。地域の若者をどう巻き込んでいくかは、大事な課題である。今後現役世代の人口が減っていくのが避けられない中で、地域の行事や活力を維持していくためには工夫をしていく必要があり、今まで関わってこなかった方に行事や取組に参加してもらえよう仕掛けが大事になってくるのは間違いない。その仕掛けをどうしていくかについては、地域振興会の皆さんと話し合いをしたりアイデアを出したりする必要があるが、今そのきっかけになればと思っていることのひとつがDXの取組である。市民が幸せを実感できて初めてDXの効果が現れると思っているので、行政ばかりがやるのではなく地域の皆さんの中にも無理のない範囲でデジタル技術の導入をしていければと思っている。例えば、LINEや新たなアプリで地域の情報を共有することによって、若者も地域の色々な情報をキャッチし、これだったら参加しようかな、と思ってもらえることにつながるのではないかな。様々なことを今後仕掛けていきたいと思っている。なかなか「これが良い」と言える状況ではないが、課題をしっかりと捉えながら取組を進めていきたい。